

医 5 副木
一般医療機器 成形副木:35354000

リラックス(胸緩ベルト)

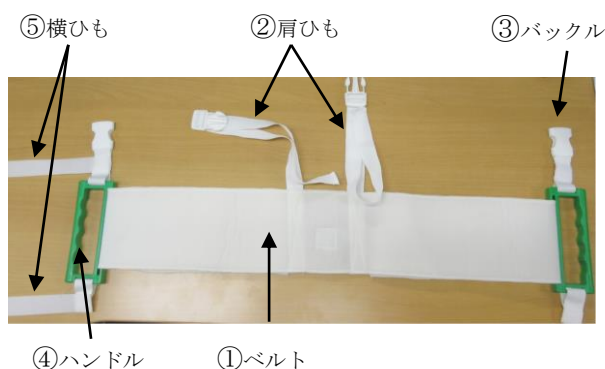
再使用禁止

【禁忌・禁止】

- 1.本品は、その患者のみに使用し、他の患者に対しては使用しないこと(再使用禁止)
- 2.胸囲に適したサイズの製品を使用すること
- 3.ハンドルを「手のひら全体を使って」締めすぎないこと(締めすぎて胸骨・創部にダメージを与える恐れがある)
- 4.本品の使用時、しびれ・痛みなどの異常が生じた場合は、直ちに使用を中止し医師に相談すること。

【形状・構造及び原理等】

[形状]



[サイズと型式]

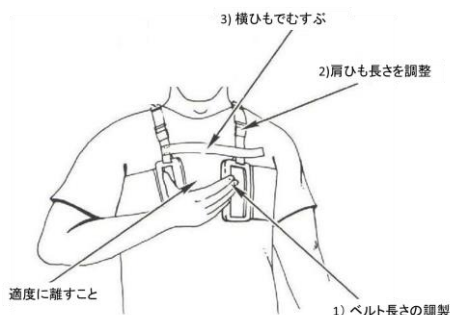
サイズ	型式	胸囲の目安 (cm)
S	STERN-S	55-95
M	STERN-M	91-140
L	STERN-L	115-180
XL	STERN-XL	130-225

[原理] 本品は、胸部にベルトを巻いておいて、咳やくしゃみのときにハンドルを指で締め付けることにより胸部を締めつけ、胸骨離開のリスクを抑える。

【使用目的、効能又は効果】

胸骨切開後に、胸部を固定して咳やくしゃみによる創傷離開と術後疼痛を抑える。

【使用方法等】



1. サイズ選定と手術前の装着練習

- 1) 胸囲に合わせてリラックス(胸緩ベルト)のサイズを選ぶ
- 2) 術前に装着練習を行う(術後は腕を大きく動かさないため)。

2. 装着と位置合わせ

- 1) ベルト①を胸部に回し、親指と人差し指でハンドルを抑えられる長さになるように、背なか側の粘着テープ位置を調整する。
- 2) 肩ひも②をバックル③と結び、肩ひも②の長さを調整して、ハンドル④を胸骨の中央の高さにする
- 3) 横ひも⑤で、2本のハンドルを結ぶ

3. 使用方法

- 1) ハンドル④を、親指と人差し指でおさえる
- 2) ハンドル④を「指だけ」で締めて、咳やくしゃみのときに胸骨が拡がるのを防ぐ。
- 3) ハンドル④から指を離し、ベルトを緩める

【使用上の注意】

- 1) ハンドルは、適度に離して位置合わせすること(近すぎるとベルトを締めることが出来ないため)
- 2) ハンドルは、長い間締め付けたままにしないこと。
- 3) ベッドから降りる際には、背中側のベルトがずり上がることが無いようにすること(前面のベルトが下方にずれて、胸部の下方で締めてしまう恐れがある)
- 4) ICUから出たら装着を開始すること。
- 5) 回復が進んだときは、ハンドル位置を離し気味に調整すること

【貯蔵・保管方法及び使用期間等】

室温の直射日光の当たらない場所で保管すること。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称及び住所等】

製造販売業者

名称：日本ビー・エックス・アイ株式会社
*住所：東京都新宿区四谷本塩町14番1号
*電話番号：03-5315-0191

製造業者

名称：YANGA社(ヤング社)
国名：イタリア